

魚沼市

NO.42

令和8年2月10日
魚沼市農業委員会

TEL 025-793-7981

農業委員会だより

雪国魚沼から一足早い春をお届けします。

促成山菜3品目
うるい(左)、ふきのとう(右)、たらの芽(奥)



魚沼促成山菜生産組合の皆さん

新年明けましておめでとうございます。健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より当農業委員会活動にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、水不足や高温の影響を受けたものの、作況や品質も例年並みとなり、また、令和の「米騒動」から米の仮渡金は過去最高の額となり、農業経営者にとつては良い年になつたのではないかと思います。しかし、米の店頭価格は依然高値が続き、消費者離れや米価下落が懸念されます。生産者が安心して営農を継続出来る価格帯を望みたいものです。

さて、農業の担い手の確保や農地の利用集積・集約化、遊休農地の発生防止や解消は喫緊の課題となつており、地域計画の実行に向けた取組を市及び関係機関と共に取り組んでまいります。また、農業経営の持続可能な政策の実現に向けた要請を引き続き行ってまいります。

農地法に基づく農地の権利移動の際の許認可、「農地利用の最適化」に向けた課題に農業委員及び農地利用最適化推進委員は一体となり、地域に密着した活動に努めます。市・JA等関係機関並びに皆様方のご指導とご協力を賜るとともに、今後ともよろしくお願い申し上げます。

今年は「丙午」、皆様方には更なる飛躍、発展の年となることを心より祈念申し上げます。



魚沼市農業委員会
会長 上村 喜久雄

ご挨拶

農業委員及び農地利用最適化推進委員の募集について

令和8年7月23日をもって任期満了となる農業委員及び農地利用最適化推進委員の推薦を求めるとともに募集を行います。

	農業委員	農地利用最適化推進委員	
募集人員	19名	24名(担当する区域別に募集)	
任期	令和8年7月24日～令和11年7月23日		
報酬	月額 28,400円	月額 26,400円	
応募資格	農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項やその他農業委員会の所掌に関する事項に関しその職務を適切に行うことができる者。 ただし、破産手続き開始の決定を受けて復権を得ない者及び拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者は委員になることができません。		
主な職務	1 農地の権利移動や転用申請の許可、決定等の審査のため現地調査や農業委員会の会議等に出席(総会は毎月1回開催) 2 推進委員と連携した以下の業務 • 担い手への農地集積・集約化のための利用調整活動 • 遊休農地の発生防止・解消のための農地パトロールの実施 • 農業者新規参入の促進	1 農業委員会の会議及び研修会等に出席(総会は毎月1回開催) 2 農業委員と連携した以下の業務 • 担い手への農地集積・集約化のための利用調整活動 • 遊休農地の発生防止・解消のための農地パトロールの実施 • 農業者新規参入の促進	
推薦・応募方法	募集は「魚沼市農業委員会の委員選任に関する要綱」「魚沼市農業委員会農地利用最適化推進委員の選任に関する要綱」により行います。 募集要項・申込書は、魚沼市ホームページ、農業委員会事務局に備えてあります。		
受付期間	令和8年2月2日(月)～令和8年3月2日(月)		
提出書類	申込書(推薦・応募申込書)		
提出方法	令和8年3月2日(月)までに直接持参又は郵送(必着)で下記へ提出してください。		
提出先	①持参する場合…魚沼市役所 本庁舎 2階 農業委員会事務局 (受付時間：市役所開庁日の8時30分～17時15分) ②郵送の場合…〒946-8601 魚沼市小出島910番地 魚沼市農業委員会事務局 宛		
選任方法	推薦を受けた者及び応募した者の中から候補者を決定し、市議会の同意を得たうえで、市長が任命します。 ※選定にあたっては、次の条件があります。 ①認定農業者が過半数であること ②利害関係のない者(中立委員)を1名以上含むこと	推薦を受けた者及び応募した者の中から候補者を決定し、農業委員会が委嘱します。	
その他	応募の状況については、魚沼市ホームページ等で公表します。なお、公表内容は住所を除くすべての記載内容を対象とします。		
問い合わせ先	魚沼市農業委員会事務局 電話 025-793-7981 E-mail noi@city.uonuma.lg.jp		



本市では、未来の農業を守り育て、農地の最適化を図りながら次世代へ引き継いでいくことを目的に、10年後の地域農業の姿を見据えた地域計画を、令和7年3月31日に策定しました。今年度は、敷神地区をモデル事例として農地利用調整の仕組みづくりに向けた意向調査を、下折立地区では集落営農の新しい形について検討を進めています。地域計画は随時見直し、実効性のある計画となるよう取組を促進してまいります。

地域計画の実行に向けて

「地域ぐるみの取組を進めましょう」

これらの取組を成果につなげるために、地域全体での協力が欠かせません。遊休農地の発生を防ぐための情報提供や、地域ぐるみでの草刈り・水路管理など、一人ひとりの身近な行動が地域農業の大きな力になります。未来の子どもたちへ続く豊かな農地と食文化を守るために、皆さまのご協力をお願いいたします。

魚沼市 農政課

魚沼市の山間部にある大柄山集落では、大柄山農地活性化組合において動力噴霧器でのカメムシ防除作業を行つてまいりましたが、近年の酷暑における作業はかなりの重労働であり、作業員の高齢化になりましたが、組合の会議の中でドローンを使つてみてはどうかと提案があり、皆で検討しました結果、新たに大柄山共同防除組合を立て上げ、令和5年に魚沼市スマート農業推進事業補助金（ドローン本体等の設備導入、パイロットの講習費用の補助金）を申請し、不足分を直接支払交付金の個人配分の一部を個人が拠出して導入することとしました。

補助事業は採択され、令和7年度のカメムシ防除はドローンにより行い、早朝の涼しく風があまりない時間帯に散布しました。ドローン散布の良いところは、なんといつても重いホースを引きずつて歩くことがなくなり、とても楽になつたことです。そして、散布時間も以前より格段に速い。いいことづくめのドローン散布、今後は他集落からの散布依頼が増えそうです。

佐藤陽一委員

酷暑のカメムシ防除 ドローンで労力軽減



若い農業者の方は、国民年金に上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を！

全国農業新聞を購読してみませんか？
みなさんの購読のお申し込みをお待ちしております。

(月4回金曜日発行 購読料：月700円[送料、税込])
※令和8年4月より月額900円[送料、税込]となります。
全国農業新聞は経営とくらしに役立つ農業総合専門紙として高い評価を受けています。

連絡先 魚沼市農業委員会事務局 電話 793-7981

全国農業新聞
NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

農業者紹介

共同化により地域農業を支えていきます

団体名：なかはらファーム

構成員名：渡邊勘仁、櫻井正明

水田面積：令和8年度 8ha（予定）

地域農業を守り、次の世代に繋いでいく。その思いから2軒の兼業農家同士が手を組み、新たな組織を立ち上げた「なかはらファーム」にインタビューをしました。



●組織を作ろうとしたきっかけは？

自分が住む地域の農地・農業は自分たちで守りたいという思いから、農作業を共同で行うことでの作業の効率化や、高額な農機具の共同化をすることで負担が軽減できると考えて組織を立ち上げました。

●どのような内容で共同の取り組みをされていますか？

畦塗作業、肥料散布、田植え、溝切作業、カムシ防除、稻刈り、乾燥調整作業など一人でなかなか効率の上がらない作業を共同で行いました。また、農業に興味をもってもらえるようにSNSでの農作業の動画発信も行いました。

●共同化による効果や手応えは？

高額な農機具を共同で購入することで費用負担が軽減されただけでなく、問題に直面した際にお互いに相談しながら対応することができ、気持ちの面でも負担が軽減

されました。

●地域農業を担う立場として、大切にしていることは何でしょうか？

当地区は作業効率が良いとは言えない地区ですが、地域の方が今まで大切に守ってきた農地であり、その思いを大切に、できる限り地元で守っていきたいです。

●今後、目指していきたい姿は？

「来年から田んぼをお願いできないか」と声をかけられることが多くなり、令和8年度から合わせて8ha近くの耕作をすることとなりました。兼業農家のため時間も限られるので、受託できる面積も限界があります。しかし、「自分の地域の農地・農業は自分たちで守る」ことを目標に、同じ思いを持つ仲間を増やしながら、出来る限り対応し、地域の農地と農業を次の世代に引き継いでいきたいと思っています。

総会開催日

開催日 每月25日（週休日にあたる場合は翌開庁日） ※どなたでも傍聴できます。

農地貸借・売買・転用等申請締切日

農地転用許可（4・5条）毎月5日（週休日にあたる場合は翌開庁日）

農地の貸借等の許可（3条等）毎月10日（週休日にあたる場合は変更となる場合があります）

農地法関係許可日

原則として、許可日は申請月の総会日以降となります。



思えませんが、ちょっと心配な所の皆さんには、頑張って行きましょう。

令和7年は米騒動でいろいろありました。備蓄米が出た後から新米が出ましたが、価格がなかなか下がらず消費者も手を出しづらい状況が続いている状態でした。

編集後記

高橋祐次委員

あぜ道のつぶやき

昨年柿がいつになつたすけ、干し柿に挑戦。知り合に聞いたら、熱湯に潜らせてから干したほうがいいよと、言われたのでやってみたら、なんか上手くいった。そこで調子こいてさつま芋もいっぺ採れたけど、ちっこいのがいっぱいだった。すけダメ元と思い、干し芋にしたら思った以上にこれも甘くなっていた。なんか上手くいきすぎて怖い。今は調子こいていると痛い目に合いそうなんで、いつも以上に気を引き締めていこうと思う。